
今でも君を

林 Я a ë

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今でも君を

【Nコード】

N8296G

【作者名】

林 yaë

【あらすじ】

優しすぎる彼を好きになって5年。小学校からずっと想っていた事を告白した私。振られても、好き。学校が別々でも…まだ諦められない。「未練がある」私の初恋を書いた実話です。

(前書き)

小4から今まで、5年間と約半年の恋をしている私の気持ちを書きました。

下手かもしれませんが、読んでくれたら嬉しいです。

私は5年間ずっと片思いしてる人がいる。
それは初恋で：しかも、まだ想ってて。

その人は「恋には興味ない」って言ってたけど恋してた。
恋に興味ないとか言う男子は、カッコつけてるんだと思ってた。
今まで会った男子はそうだった。
てゆうか、まともな男子がいなかった。
興味ないだけじゃなく、女子をバカにしたり。
外見だけで判断する男子とかばっか。

でも君を好きになって違うって分かった。
これは君だけかもしれないけど。

私は、君に好きな子がいるの知ってて告白した…。
告白したのは中2のバレンタイン。

「好きな子がいるから」
とか言われるのかと思った。
知ってたけど、言われるのが怖かったから。
だけど君は

「恋に興味ないんだ：なんてゆうか：今は：一人がいいんだ。」
なんて言って。

ビックリしたけど、そんなに傷つかなかった。
もしも「好きな子がいる」って言われたら、その場で泣いてた。
君は嘘をつくのも、つかれるのも嫌がってたけど：
私の為だけに：私を傷付けない為だけに嘘をついてくれた。
優しい嘘だった。

チョコを嫌いなのに受けとってくれた。

そんな優しい君に恋してる私。

昔から、振られてからも、ずっとずっと見てきた。
でも卒業式でお別れ。

最後に写真も撮ってくれた。本当に本当に優しい君。

優しすぎる君は、卒業アルバムに

“ 今までありがとう。

君はいい人だから

僕よりいい人が見るかるよ。”

だなんて書いて。

傷つかないように書いたつもりだったんだろうけど
実は一番傷つく言葉だった。

その後、雨に打たれて泣く私はバカかなって思ったり。
卒業式に声を出さないように、泣いた。

君が卒業証書受け取る時、すぐ泣いてしまった。

君は、失恋した子を諦めれたみたいだった。

でも私は今でも君を想ってる。

今でも君は、あの頃の姿のまま記憶に残ってる。

君があの子を好きだったように、私も君が好き。

それより好きって自信がある。

だって……今でも好きなんだから。

今、君は何してるかな？とか

何を考えてるの？とか

学校で女子と喋ってるの……？とか

カッコよくなったんだろーなー……とか……

毎日、君の事で一杯。

もうちょっと頑張れば、君と同じ高校に行けたのかな？

もうちょっと頑張れば、君は私に振り向いてくれたのかな？

後悔ばかり残ってる。

だから、高校に「カッコイイ」って言われてる人がいても意識しないし。

てゆーかできないし、カッコイイって思えない。

君意外、誰も見えないんだよ…見れないんだよ…。

空を見る度、君を思い出す。君を近くに感じる。

近くて遠い距離。もう、縮まることは…ない。

君は私のことなんか、気にしてなくて。

他の人たちも、時間は確実に進んでて。

私の心だけは…中学生の時のまま止まっている。

進むことのない、心の時計。

君と会えなくなってから…私の心は、まるでポツカリ穴が開いた感じ。

だんだん暗闇になっていく心。

笑ったのに、「本当に笑ってるの？」って聞かれちゃった。

やっぱり…君がいないと、ちゃんと笑えない。

私は、後悔ばっかしてるけど、この先も後悔するんだろうな…。

後ろばっか見て、前を見ない。

分かってるけど…君のいない所では、どうにもできない。

君を忘れることも、諦めることも…できない私。

今でも…君の姿を追っている。

今でも…君を好きで好きで仕方ない…。

どうすれば…いいのかな…？

(後書き)

こんな話を読んでいただいて光栄です。

本当は、これだけで終わらせたくなかったんです。ただど書くと長くなりそうなので。

ついでに、実話だから恥ずかしくて短くしました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8296g/>

今でも君を

2010年10月9日23時20分発行